

# いぼん

No.7

2012. 2. 13

入間市障害者相談支援センター **いぼん**  
 入間市障害者就労支援センター  
 入間市豊岡1-16-1 市役所内  
 TEL 04-2901-7088

## 障害者就労支援センター

**1月末現在 就労中! 70人!**  
**登録者 119人**



### 就労支援利用者人数(22年11月末までの実績)

	登録者数	就職者(※)	相談者数	1日あたりの相談・支援件数
人数	119名	70名	411名	平均21.63名

※就職者はすでに就労している方で、就労継続のための支援を希望する方も含みます。

昨年の10月ごろから「働きたい!」と来所される方、「働き続けたい!」と定着支援を希望される方が右肩上がりに増えています。説明会(下記コラム参照)には10人近い方が予約してくれる時もあります。これも就労支援センターの支援が皆さんに知られるようになったからかなと思いますが、まさにうれしい悲鳴です。庁内各課から様々な仕事を提供してもらったりぼん内実習も、常時5人前後の方が参加し実習をしながら就活をしています。

しかしながら、お正月の長期休暇で生活のリズムが変わったからか体調を崩され、結果的に離職を余儀なくされた方もいました。体調が回復されたら、再度就労にチャレンジしていただきたいし、その際は私達も最大限支援をしていくつもりです。

## 就労支援センターのおこなう支援 紹介

就労のための、さまざまな支援や新しい支援の動向などを報告します。

### いぼん説明会

始めてりぼんの利用を希望する方に対し、今年から「就労支援センター説明会」を下記のように実施しています。りぼんの成り立ちから支援の実際まで、まずは理解してもらい、納得いただいた方にはその場で「仮登録」の申請をしていただきます。その後、アセスメントのための面談を何回か行い、実際の就活をはじめるときに「本登録」へ進みます。

同じ日の説明会の後、ビジネスマナー学習会もあります。

**毎月第2第4木曜日 13:30~14:30 りぼんにて**

【まずは、りぼんまでご連絡ください。】

## 障害のある人たちの“はたらく”を考えるつどい vol. II

～平成23年12月3日（土）市長ご臨席のもと開催～

昨年末の多忙な時期にも関わらず、障害者ご本人、ご家族、支援関係、会社、一般市民の方、100名ほどの方がお集まりいただき、盛大な有意義な会となりました。



### 第1部 ご講演 “ヤオコーの障害者雇用について”

会社としての障害者雇用について、ヤオコー人事部の山内桂子様からご講演をいただきました。

主な内容としては、ヤオコー様の取り組みとして、法定雇用率を満足しさらに上を目指すこと、障害者は〇〇障害の人としてではなく一人の〇〇さんとしてのお付き合いが大切であること、ご本人が企業で働くために必要なこと等をお話いただきました。

### 第2部 体験発表

今回は3障害の当事者の方、当事者のお母さんの4名の方にそれぞれの体験談を発表していただきました。

参加された方は、一様に体験者の声に感動されたようで、頑張っている、自分も励まされた、何かしなければと思った、44歳での初の就労はすごい等の意見が多く聞かれました。

アンケートでは、りぼんに対するねぎらいと期待の声も多くより良い障害者の就労支援に取り組む必要性を改めて感じることができました。



## りぼん内実習

当センターでは、利用者への支援（アセスメント）の1つとして、入間市役所のご協力を得て『りぼん内実習』を行っています。

働くための体力の確認、少人数からコミュニケーションに慣れていきたい、どんなことが得意でどんなことが苦手なのか知りたい、次のステップに向けて生活リズムを作りたい…etc、目的は個人によって変わりますが「働く」に向けて自分の気持ちを整理する期間として活用していただいています。

働きたいけど、なにから始めたらいいのかわからないという方は、利用してみてもいいでしょうか。

# しょうがい支援ネットワーク会議

相談支援センターりぼんでは、入間市に住む障がいのある人の福祉・教育・保健等の主に相談に関する機関に呼びかけをして、「しょうがい支援ネットワーク会議」を開催しています。

会議では、情報交換や実務研修を行い、相談のスキルアップを図るとともに、障害のある人の生涯にわたる地域生活支援の実現に向けて、しょうがい（障害・生涯）支援ネットワークの構築をめざすことを目的としています。

**第1回** 昨年6月に【実務研修ユニット】と題して「記録の書き方、考え方について」をテーマに記録についての意義を改めて認識する研修を開催しました。

講師には入間市自立支援協議会副会長の岩崎香氏（早稲田大学人間科学学術院准教授）をお招きして、本人の強みを活かした（ストレングス視点による）支援を行う上での記録のあり方について、ケースワーカーや保健師などの相談業務に従事する者同士で学びあう機会となりました。

**第2回** 昨年9月に【こどもユニット】を開催し、入間市における障害のある乳幼児・学童の相談支援のあり方をテーマとして、「入間市子ども未来室事業」との連携を軸にして、療育・保育・教育の関係者が集まりました。

そのなかで、入間市子ども未来室事業の一つである「育ちの記録シート・おちゃめ」について学校教育課の担当者より説明を受け、意見交換を行いました。

**第3回** 今年1月に開催し、第1回目の実務研修ユニットの続きとして、「記録の書き方、考え方」の理解を深める演習を行いました。

当日はロールプレイを通してグループディスカッションを行い、幅広い関係機関の方々が、それぞれの視点で活発な話し合いが行われました。

今年度、相談支援センターりぼんでは、計3回のしょうがい支援ネットワーク会議を通して、地域のネットワークづくりに取り組んできました。

延べ参加人数は123名となり、その成果は日々の業務のなかで活かされており、今後もネットワークは広がっていくものと考えています。誰もが安心して入間市民の一員として暮らしていけるよう、今後も関係機関とのネットワークを大切にしながら相談業務に取り組んでいきます。



# 入間市障害者自立支援協議会

**第2期** 平成21年4月～23年3月

第1期を引き継ぐ形で始まった入間市障害者自立支援協議会は平成24年3月いっぱい第2期の終了を迎え、さらに平成24年度からは第3期の自立支援協議会がスタートします。

今期（第2期）の自立支援協議会は、地域の関係機関との連携を深めていく目的でネットワークを広げる活動をしてきました。

相談支援センターりぼんを中心に進めた「しょうがい支援を結ぶミーティング IN いるま」・「しょうがい支援ネットワーク会議」。

就労支援センターりぼんを中心に「障がいのある人たちの“働く”を考えるつどい」を開催しました。

これからも、ネットワーク構築に関する活動、困難事例の対応のあり方に関する協議等を行うことにより、ご本人がこの入間市で、自分らしい普通の暮らしを営み、社会参加ができるように、地域の障害福祉に関する中核的な協議運営をしていきます。

## くらし部会

平成23年度くらし部会は、①ネットワーク構築に向けた取り組みとして、「実務研修ユニット」、「こどもユニット」を開催し、②障害福祉計画の見直しに関する検討、③障害者自立支援法改正（「つなぎ法」）に関連した相談支援の今後への対応を検討し、④障害児、高齢の障害者、発達障害者など相談対象が多様化しており、今後の部会のあり方について議論しています。

今後、地域課題、つなぎ法への対応などを鑑みた部会になると考えています。

## しごと部会

第2期のしごと部会では、8人の協議会委員で構成、障がいのある方々の“はたらく”ということを中心に、まずは障害者の就労支援の理解から始まり、事例について検討するなど、年7回前後の集まりで活動してきました。具体的には以下のような内容でした。

- ① 市役所等での職場実習について。
- ② 防犯対策用市内施設のネットワークの構築。
- ③ 市内障害者施設との連携や交流会。
- ④ 障がい者の働いている企業や福祉施設の見学。
- ⑤ はたらこサポーター（就労支援ボランティア）の試行事業。
- ⑥ りぼん主催の「はたらくを考えるつどい」への参加

今後の課題としては、働いている一人暮らしの方の見守り支援や、身体や療育の方が退社後寄れるようなサロンのような場所のことなど話し合われています。